

大学教育研究センター全学FD事業

第22回大学教育研究セミナー(6月8日研究員会議終了後開催)
本学学生の入学前の教育情報認知度とその影響

センターの研究員による調査結果の報告およびセンター研究員間での意見交換の場である大学教育研究セミナーを、今年度も開催します。

今回は、本学の入試のあり方を検討していく際や高大接続のあり方を考えて行く際に、その一環として重要になる、本学学生の入学前の段階での教育情報の認知度やその影響について、センター特任研究員の平先生から、報告を行っていただきます。

昨年度、一昨年度のセミナーと同様、大学教育研究センター研究員会議の終了後に、センターの研究員および事務職員の方々を対象に開催いたします。お忙しいなかではありますが、センターの教職員の皆さまは、どうぞご参加いただければと存じます。

「第22回大学教育研究セミナー」

日時：2018年6月8日(金) 研究員会議終了後(11:10頃)~12:10

場所：全学共通教育棟2階会議室

テーマ：

「本学学生の入学前の教育情報認知度とその影響」

【センター研究員による研究成果報告】

発表者(兼企画担当): 平 知宏 大学教育研究センター特任講師

近年の大学改革の流れの中で、大学が提供する教育の目的とその中身、評価までの流れを明示する、教育の質の保証が求められるようになっており、その一環として各大学において、3ポリシーの策定と公開が義務化されました。それを受けて大阪市立大学でも、大学としての理念だけでなく、学生にとっての学びの道筋を明示した3つのポリシー(入学者受け入れ方針、カリキュラム設計方針、学位授与方針)が公開されるようになっていきます。今回のセミナーではそうした改革の流れにおいて、学びの主体である学生が、大学が提示する教育の「理念」や「入学者受け入れ方針」をどのように認識・活用し、自身の学びとどうつなげていると考えられるか、調査および学修に関するデータをもとに議論していきたいと思えます。

(運営担当:飯吉)

以上